

2. 研究業務の内容

企画開発推進室

1. 「生産者と向き合う総合水試」情報収集発信事業

岡部耕治・桐山隆哉

総合水産試験場（以下、水試）では、水産研究に有用な水温、漁獲、魚病等の情報収集とともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。また、専門的な研究情報の提供と漁業現場等のニーズの把握を目的に、県内各地で研修会（出前水試）を開催した。

I. 試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県内各地の魚病発生情報を収集し、新たに143件を登録した。累計登録件数は6,242件。

2. 海況データベース

県内各海域の海況情報を収集し、新たに14,488件を登録した。累計登録件数は493,408件。

II. 試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

長崎県庁ホームページへ次の情報を提供した。

- ・水試の施設の紹介
- ・漁海況情報
- ・水温情報
- ・最新の試験研究話題
- ・トピックス等

2. FAX情報サービス

漁協等関係機関へ次の情報を発信した。

- ・漁海況情報
- ・赤潮情報
- ・情報発信件数：計3,486件

3. 情報誌の発行

「令和5年度の主な成果」を発行（令和6年3月）し、漁協等関係機関へ配付した。

III. 現地での研修会(出前水試)の開催

令和5年度は、現場のニーズをより専門的に詳細を把握するため、地区や部会等の要望に応じて県内

6地区で9回開催した（表1）。

各会場とも水試の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。

表1 令和5年度の出前水試実施状況

開催日	開催場所	出席者
R. 5. 6. 9	五島市福江町	13名
R. 5. 9. 9	平戸市早福町	20名
R. 5. 9. 28	松浦市今福町	25名
R. 5. 10. 19	対馬市宮谷町	15名
R. 5. 11. 15	長崎市戸石町	19名
R. 5. 11. 16	雲仙市南串山町	14名
R. 6. 1. 24	長崎市五島町	11名
R. 6. 3. 8	長崎市五島町	17名
R. 6. 3. 15	新上五島町若松郷	12名
合計		146名

IV. その他

1. ながさき水産科学フェアの開催

新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンにおいて、10月15日に同地区に隣接する国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所（長崎庁舎）、国立大学法人 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターとの共催で「第18回ながさき水産科学フェア」を開催した。

三研究機関の地域貢献を目的に、施設の一般公開や各種体験型イベント、サイエンスカフェを催した。新型コロナウイルス感染症の発生により、4年ぶりの開催となったが、参加者は前回は上回る1,082人となり、参加者に対する三研究機関の試験研究活動や水産業・海洋への興味と理解を深めることに貢献した。

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝達し、その普及を図ることを目的に、記者室への投げ込みや取材対応等の16件の広報活動を行った。

（担当：岡部）